

7 がっひかりごう

令和 4 年 7 月 1 日 輝 保 育 園

もうしばらくは梅雨が続きませんが、明けると、本格的な夏の到来です。雨が降らない日はプール活動が始まり、心も身体も開放的になります。五感を沢山使いながら友達と楽しさを共有し、水遊びでのルールも理解していきます。今年も暑さが厳しい予報です。熱中症や脱水症状など子どもたちの体調にも気をつけながら活動に取り組みたいと思います。

【【 プール遊び 】】

7 月 1 日からプール活動を始めます。

プールカードは、毎日保護者のサインが必要で

サインがないとプールに入ることができません。

毎朝、子どもさんの健康状態をみて、保護者の方がサインをして下さい。

プール活動、水遊びは、体力を消耗します。ご家庭でも、十分な健康管理をお願い致します。



=== ナース・レポート ===

【虫刺されの季節です！
とびひに注意！】

毎年夏の訪れとともに、必ずやってくる蚊たち――。

園でも虫刺されが増えてきました。

子ども達の皮膚は薄く弱いため、虫に刺されたところがひどく腫れてしまうことがあります。

腫れたところが水ぶくれになってしまったり、かき壊してしまうと、それがきっかけで「とびひ（伝染性膿痂疹）」となります。

かき壊したあとに黄色ブドウ球菌、A 群溶血性レンサ球菌が感染し、皮膚にどんどん広がっていくことから、この名称で呼ばれています。

水疱が潰れてジュクジュクになり、その部分を触った手で体のほかの部分搔くと、次々に広がっていきます。

また、接触すると他の人にも移ります。

悪化しやすく、薬のちからを借りないとどんどんひどくなります。

患部をガーゼやカットバンで覆えば登園は可能ですが、患部がジュクジュクしているときはプールには入れません。

早期発見・治療を心掛け、待ちにまった水遊びの季節を楽しみましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

早寝早起きのためのポイント

- ① 子どもの望ましい就寝時刻（9 時頃）を理解し、決めておく。
 - ② 就寝の 1 時間前にはテレビを見ないようにする。
 - ③ 就寝の準備（着替え、歯磨き等）を行う。※ 絵本などの読み聞かせも大切
 - ④ 部屋を暗くする。
 - ⑤ 起きる時間の少し前にカーテンをあげ、朝日を入れる。→声をかける
 - ⑥ ゆとりをもって朝ごはんを食べさせる。（食事時のテレビは OFF）
 - ⑦ 排便をさせる。
 - ⑧ 日中はしっかり活動させる、遊ばせる。
 - ⑨ 昼寝は早めに切り上げる。
 - ⑩ 夕食は早めにする。
 - ⑪ 早寝早起きができたらしっかりほめる。
- 習慣が身に付くまで同じ手順をくり返しましょう！



「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0 才児



動くことを楽しみ、活発さがどんどん増えています。3 カ月前は寝返りや座ってその場で遊んでいたお友だちが、ハイハイで室内の色んな所に探索活動に出かけ、つかまり立ちをしていたお友だちは、伝い歩きでどんどん歩き、時には一人で立ち上がって両手を広げて見せてくれています。3 カ月で目まぐるしい成長を遂げるこの 0 才児期。行動範囲が広がることで子ども一人ひとりの世界が更に発展しています。探索意欲が更に増し、見るもの触れるもの全てが新鮮であらゆるものを手で確かめたり近くで見て感じたりします。時には手が滑ったり足がうまく運ばず転んでしまう事もありますが、そんな時こそ転んでも信頼している人の支えで立ち上がり再び歩き出す気持ちが芽生えます。また、体の使い方や、物や人との距離を学び養う機会となっています。

たんぽぽぐみ
1 才児



最近の身のまわりのことを自分でやってみようとする子が増えてきました。高月齢の子はズボンだけでなく、靴下や靴を履くことにも挑戦しています。まだ思ったようにできないことも多く「できな～い」と言うこともあります。頑張っています。1 才前後の子もズボンに足を通そうとすることができています。先日、ズボンの片方に両足をいれてしまい、「あれ！あれ？」と、男の子。もう一度脱いで、最初からやり直します。できるだけ取り組む姿に感心しています。やる気になった時が上達の時です。見守ったり、一緒に行いやり方を伝えたりしながら関わっていきます。家庭でもしたいけれど出来なくて、泣いたり怒ったりしてしまうこともあるかもしれません。困った時は声をかけて下さい。一緒によい方法を考えていきましょう。

すみれぐみ
2 才児



蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも夢中になって色々な遊びを楽しんでいます。ままごと遊びでは、道具を色々な食材に見立て、イメージを膨らませています。また、普段の生活で経験したことを言葉にし、友だちや保育士と言葉のやり取りも楽しんでいます。友だちとの関わりが出てくると、色々なぶつかり合いもできます。ぶつかり合うことは、自分以外の他者の存在や思いに気づいたり、順番を守ることや、物の譲り合いができたりと、社会性を身に付ける大切な経験です。2 才児は、人間関係を築く第一歩を踏み出す時期です。まだまだ、相手の気持ちを考えて行動することは難しいですが、これから友だちとの関わりを通して、保育士を仲立ちとしながら、一緒に遊ぶ楽しさをたくさん経験してほしいと思っています。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



「衣服の前後を自分で見極める」ことを中心に、着脱の確立に向け取り組んでいます。前後の見極め方を知ることから始め、実践を繰り返し、知識を知恵に変えていく過程を見守ってきました。当初は、自分で考えず「こっち？」と、結果のみを聞きに来る姿が多く「自分で考える」ことの習慣化が課題でしたが、「できた！」と喜ぶ姿が 1 人、2 人と増え始めると、その姿に刺激を受け、ほとんどの子ども達に「自分で考える」という嬉しい変化が見られるようになってきました。「諦めない力」や「やり遂げる力」など、将来に繋がる素敵な力も発揮しています。現在は、衣服の確認ポイントを見て（目）正しい向きを考え（頭）、動かす（手）という、夫々の力を連携させていく事が大きな課題として残っています。今後も実践を繰り返し、全児、確立を目指していきます。

ばらぐみ
4 才児



先月から水遊びが始まりました。シャワーを間近で浴びたり、座っておもちゃで水を移す等してじっくり遊んだり、それぞれが水遊びを楽しんでいました。タオル等の準備にご協力いただきありがとうございました。ばら組の子どもたちは毎日絵本の時間を楽しみにしています。ある時一人の子が「その絵本は誰が作ったの？」と疑問を口にしました。保育者がその絵本の作者の名前を読むと、子どもたちもその名前を口にしながら顔を見合わせていました。最近、絵本を読み終わると必ず作者の名前を全員で確かめるということが続いています。「一人で作って大変だったかな」との声も聞こえてきました。日々いろいろな物語に出会い、物語を作った人にも思いを巡らせ、想像力がはぐくまれていることが窺えます。子どもたちの考える時間を大切に過ごします。

ひまわりぐみ
5 才児



5 月に植えたひまわりを「虫に食われてない？」「また大きくなって」などと言いながら観察し、大きくなり花が咲くのを心待ちにしています。6 月は暑くて天気の良い日に水遊びをしました。水遊びの約束を守ったり、気持ちが高ぶって約束を忘れてしまったりしながら友だちと水汲み係やカップを並べる係など役割分担をして、遊びを楽しんでいます。その反面、トラブルも増えています。自分の思いばかりを強い口調で主張して相手の思いを受け止められなかったり、自分の気持ちを伝えずに保育者に伝えにきたりする姿が見られます。子ども同士では解決が難しく、保育者が間に入って互いの話を聞き、どうしたらよいか考えて解決へ繋げられるようにしています。相手の思いに気づいて受け入れたり、折り合いをつけたりできるような経験を大切にしていきます。

= 7 月の行事予定 =

1 日（金） プール開き

7 日（木） 避難訓練

22 日（金） お誕生会・身体測定